



# こうちこどもファンド

平成28年度 審査会 報告書



平成28年6月19日(日) 13:30~17:00

高知市南部健康福祉センター 2階大ホール



## 【 目 次 】

開会（13：30～） ..... P2

☆開会のあいさつ 高知市長 岡崎 誠也

☆審査員等の紹介

☆審査の流れ

応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答（13：40～） ..... P5

☆高知市立久重小学校6年生

☆潮江中防災プロジェクトチーム

☆Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

☆チーム龍馬

☆おおつっ子

☆ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

☆一宮家おもてなし隊

こども審査員による一次判断（14：50～） ..... P17

審査員による公開審議（15：05～） ..... P18

審査結果発表（16：15～） ..... P33

☆審査結果発表

☆こども審査員からの感想発表

☆こども審査員サポーター，こどもファンドアドバイザー感想発表

☆審査委員長からの講評



## 【 開 会 】

### ★開会のあいさつ

高知市長 岡崎 誠也

みなさんこんにちは。5回目を迎えましたけれども、こうちこどもファンドの平成28年度の公開審査会ということで、今回も多くの皆様方に参加をいただきまして、心から感謝、御礼を申し上げます。

5年前にこのファンドが立ち上がったときには、実際に卯月先生にも大変お世話になりました。実際やってみないとよくわからないという感じで、1回目立ち上げましたが、1回目から非常に素晴らしいプレゼンテーションが子供さんからたくさん出ましたし、またこども審査員の方々からも、非常に色々突っ込んだ意見も多く出させていただいております、これだったら間違いなかったなという思いを非常に強くいたしました。

この5年間、子供さんの様々な素晴らしいプレゼンが大人を引っ張っています。地域のそれぞれの団体が地域の大人を引っ張る形になっておりますので、私たちが想像した以上に「こどもファンド」という事業は非常に高まりがあって、我々も大変喜んでいるところでございます。

今日は公開審査会ということで、様々な角度から提案をいただくということになるとは思いますけれども、いろいろな考え方がある今の時代にひとつ、共通して言えることは、多様性という言葉が非常によく使われるようになりました。いろいろな形での取り組みもございますし、今の大人の方々、子供さんも防災の関心が高いと思いますけど、今地域の大人の方々も防災にすごく関心が高くなっています。それ以外でも、高齢化が進んでいますので、地域のお年寄りを今後どうやって見守っていくかとかそういったところの関心も高くなっていますし、子供さんはまた環境とか地球を守るとか、そしてエネルギーの循環とかそういうことにも非常に関心は高いし、それから地域の食に関する関心も高いので、そういう意味で多様性という言葉は今後ともさらに広がってくるものと考えております。

今日の公開審査会で様々な分野で、素晴らしいプレゼンが行われるだろうと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます、私の開会にあたっての挨拶とさせていただきます。大変多くの方が参加していただいております、ありがとうございます。感謝いたします。



## ★審査員等の紹介

### こども審査員

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 松岡 陽（まつおか ひなた）     | 小津高校2年     |
| 大原 正裕（おおはら まさひろ）   | 高知学芸高校2年   |
| 大原 弘靖（おおはら ひろやす）   | 附属中学校3年    |
| 松下 藍花（まつした あいか）    | 附属中学校1年    |
| 森本 向日葵（もりもと ひまり）   | 大津中学校1年    |
| 田部 祥一郎（たべ しょういちろう） | 城西中学校1年    |
| 青木 晴楓（あおき はるか）     | はりまや橋小学校5年 |
| 勝田 佑（かつた ゆう）       | 三里小学校4年    |
| 増田 光祥（ますだ みつよし）    | 高知小学校4年    |

### 大人審査委員

|              |                              |
|--------------|------------------------------|
| 審査委員長 卯月 盛夫  | 早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授       |
| 審査副委員長 吉門 文恵 | 株式会社ケンジン 取締役・専務              |
| 審査委員 梶 英樹    | 高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター特任助教 |
| 審査委員 尾崎 昭仁   | NPO高知市民会議                    |
| 審査委員 横田 寿生   | 高知市教育長                       |
| 審査委員 神崎 修    | 高知市市民協働部部長                   |
| 審査委員 山川 瑞代   | 高知市子ども未来部部長                  |

### サポート役

こども審査員サポーター 佃 典高（高知市教育委員会学校教育課 指導主事）  
こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

### 協力

NPO法人要約筆記高知・やまもも（要約筆記）

## ★審査の流れ

- ①応募団体のそれぞれに、助成申請した活動内容について公開プレゼンテーションをしてもらいます。  
(持ち時間は3分間)
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。  
(5分間)
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員9名が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、助成をするかしないか、こども審査員と大人審査員が、公開で審議を行います。「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員9人、助成するかしないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数、5名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。



## 【 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答】

### ★高知市立久重小学校6年生

～国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう～

レッツスタート！私達は学校の授業で外国語を積極的に学んでいます。久重地区には海外から移り住んでいる人が何名かいて、今よりもっと国際的な町になれば、自分たちが学んでいる外国語を活用する場面も増えて、もっと積極的に学ぼうという気持ちになっていくと思います。同じ釜の飯を食うという言葉があります。人と人が仲良くなるには、一緒に料理を作り、一緒に食べるのが一番と思っています。



そこで高知市に住んでいる海外の人たち、

ALTの先生などに久重地区に来てもらい、それぞれの国の特色ある食べ物を互いに紹介し合い、さらに、一緒に作ったり、会話もできればいいなと思います。今まで学んできた外国語がどれくらい通じるのかを試してみたいです。また、この機会に久重地区の魅力をわかってもらって移り住んでもらえれば自分たちが目指す国際色豊かなまちづくりができていくと考えています。

次に防災のことについてです。4月に熊本県で大きな地震が起き、たくさんの山が崩れ道路が破壊されていました。久重地区は高知市の北の山間部に位置しています。昨年の大雨では国道が崩れ、何日か通行ができなくなりました。熊本県のような地震が連続で発生し、山の中で孤立してしまった時に私達はどう生き延びていくのか、災害に負けないまちづくりも目指さなくてはなりません。今、久重小学校に防災用食料は全くありません。もしも今、熊本県のような地震がきて土砂崩れによって国道が通れなくなり孤立してしまったら、3日も生きられないでしょう。そこで山間部で孤立した場合にどうすればよいのか、どのような防災食料があるのか、その防災食料をどう調理すればよいのか、防災専門の先生などに来てもらいみんなで生き延びる方法を習ったり、防災食料について実際試食などをしてそのときに備えたいと思います。そして私たちがリーダーとなり下級生に伝え生き抜きたいと思います。

<質疑応答>

松岡委員

A L Tの先生などに学校へ来てもらうとのことなのですが、それにいたって学校の先生とかのお知り合いさんなどを呼ぶのか、また自分たち自身でちょっと声を掛けに行って来てもらうのか。手段を知りたいです。

久重小学校

学校の先生やA L Tの先生などに直接来てもらえる先生を呼んでもらう形になります。



大原正裕委員

活動の内容の中で、12月に行われる国際クリスマス大会っていうのをちょっと具体的に教えてもらえるとうれしいです。

久重小学校

まず第1回目を8月にやって、もし8月に経費が余ったりしたら11月にやって、12月にもお金が余ったらやることになっています。

大原弘靖委員

支出のほうにマジックというのがありますが、学校側から借りることはできないのでしょうか？

久重小学校

たくさん書くので学校にあるマジックでは足りないと予想しています。

松岡委員

少々難しいかもしれませんが、久重地区の魅力をわかってもらいたいということで、あなた達自身が思っている魅力っていうのはどんなところがありますか？

久重小学校

自然が豊かということと、地区に住んでいる人数が少ないため、みんな顔見知りで挨拶などもよくする、すごく賑やかな地区だということを知ってもらいたいと思います。



## ★潮江中防災プロジェクトチーム

～防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献～

これから潮江中学校防災プロジェクトチームの発表を行います。姿勢、礼。

私たちの学校には平成24年8月にたくさんの人の協力があってオープンできた防災展示館があります。防災展示館にはビスケットや水、非常持ち出し袋の他にもたくさん防災展示館には備えられています。この写真は津波のイメージ図です。この津波の高さは3メートルあります。津波の絵は高知県の画家さんが描いてくれました。このような活動が認められ平成26年9月に防災功労者内閣総理大臣賞を受賞しました。その他の活動では高齢者の方との交流で防災カルタなどをしました。高齢者の方にとっても喜んでもらいました。私たちもとても楽しい時間を過ごすことができました。

これはカルタの一覧を拡大したものです。この防災避難所カルタは避難所生活や津波から逃げるためのピルのことを知ってもらいたいと考えこのカルタを作りました。また防災避難所カルタを増やして保育園や小学校へも配っていき、一緒に防災について楽しく勉強したいと思います。

これはお店で売られている非常持ち出し袋です。この中に何が入っているかわかりますか？それでは潮江中学校の校長先生に聞いてみたいと思います。

「その中には30種類の物が入っているのですが、私はすべてを伝えることはちょっとできませんね」

この非常持ち出し袋は潮江中学校生徒全員に準備したいと思います。自ら考えて夏休み中にこのようなものを準備し、学校へ持参、保管した後、1年後に中身を入れ替えたり、付け加えたりして家庭での防災意識の向上に役立てていきたいと思えます。この助成金で防災カルタと非常持ち出し袋を購入したいと思います。

これで潮江中学校の発表を終わります。



<質疑応答>

松下委員

中学校全員の持ち出し袋を用意したいということですが、すでに一学年分はあって、今回はもう1学年分ということは、今後もう1学年分購入する予定はありますか。

潮江中防災プロジェクトチーム

はい、あります。

大原正裕委員

前回も同じような活動をされたと思いますが、今回活動するにあたってどこを前回よりもどう改善したいというのはありますか？

潮江中防災プロジェクトチーム

もっと防災カルタを増刷して小学校や保育園にも防災のことを知ってもらいたいと思っています。

田部委員

小学生にアンケートを実施するとありますが、こういった内容のアンケートですか？

潮江中防災プロジェクトチーム

アンケートの内容は家の家具の固定をしているとか、家族での避難場所を決めているかなどの項目を決めています。

## ★Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会

～まもれ 高知 自らの生命を 守り 我らの 地域を救う ～

これから Nankai Survival Project(NSP)実行委員会の発表を行います。

この津波避難 MAP を見てください。南海トラフ大地震が起きると最大で 15 メートルの津波が想定され、校区の 60%以上が浸水する危険があります。その結果、校区にある保育園、小学校、中学校のほとんどが水没してしまいます。そこでこれまでの 2 年間、こうちこどもファンドの助成を受けながら地域の防災活動に取り組んできました。

私たちは昨年度の津波避難訓練で避難してきた人の年齢別をあげた表をまとめてみました。この表から 3 つのことに気づきました。

まず 1 つ目。877 人なので多いようですが、確認してみると校区住民はおよそ 2 万人なので参加者はわずか 4.4%だという衝撃的事実がわかりました。

2 つ目は 0 歳から 19 歳までの参加人数です。253 人のうち 210 名が南海中の生徒です。つまり校区内の保育園、小学校の参加者はわずか 40 名程度となります。

3 つ目は 80 歳以上の高齢者の数です。校区にはたくさんのお年寄りがいることを考えると避難意欲の低下、身の回りに避難を助ける人がいないということが心配されます。

これらのことを考えて、作戦の変更をしました。防災と同時に地域のコミュニティ、人と人の繋がりを強くするための地域を元気づけ、これからの訓練の参加者を大幅に増やす Nankai Survival Project です。

それでは今年の取り組みと計画を少し紹介します。もっと地域に出向くことにしました。郷土の祭りであるどろんこ祭り、長宗我部祭りなどに中学生が参加し、「NSP にわか」など防災意識の向上を訴えていきます。また、保育園や小学校に次世代の NSP の柱は君たちだということを伝える取り組みもしていきます。今年の防災フェアでは保育園児を招待し、防災遊びなども企画しています。

夏休みには地域の老人ホームなどで防災プレゼンや、「NSP にわか」の披露も予定しています。一緒に避難訓練をして生きる希望と避難する意欲を持ってもらおうと思います。

みんなが繋がりみんな育てる街へ。私たちのチャレンジが今始まります。



<質疑応答>

大原弘靖委員

活動内容で 8 月に東日本大震災被災者の中学生の方との交流及び意見交換とありますが、これは来てもらうのでしょうか？

NSP 実行委員会

8 月 2 日にテレビ会議で面談というか、意見交換をする予定です。

勝田委員

防災遊びは具体的にどんな遊び道具を使うのですか？



NSP 実行委員会

案に出ている中では、何か防災に関するグッズを工作したりであるとか、火事とか地震とかの災害に備えるポーズを決めて、みんなでゲームをして体になじませていこうという企画を作っています。

### 森本委員

今年3回目のこうちこどもファンドの応募ですが、来年はどうするんですか？

### NSP 実行委員会

来年はさらに活動の幅を広げる予定ですが、まだ具体的にどうするというのは活動が始まったばかりで詳しく話し合えていないのでこれから話し合っ決めてしたいと思います。

### 松岡委員

今年行われた地域の避難訓練は、中学生自身で声かけなどはされたのでしょうか？

### NSP 実行委員会

NSP 実行委員会のお助け隊というボランティアの人たちでポスティングをしたり、生徒たち本人にも周りの家族とか親戚とかには声かけをしてもらうようお願いしました。



## ★チーム龍馬

～「城西龍馬新聞 ボランティア特集」～

これから私たちがこれまで作成してきた新聞の紹介と、これからしていきたい取り組みについて発表します。

これまで作成してきた城西龍馬新聞では、学校の良さや地域の良さを発表してきました。今現在、計12枚発行しています。城西中はもとより、校外へも配布しています。しかし、我々は城西龍馬新聞をより充実した意味のあるものにするために、ボランティア新聞編を作成したいと思い、このこどもファンドに応募しました。さきほど紹介したように、これまでは城西中学校で行った取り組みの紹介や、他の中学校で行っているボランティア活動の紹介などを主に新聞に掲載してきました。そこに新たにボランティア活動の意義や、ボランティア活動の誘いを取り入れることで、我が校で行っているボランティア日の参加人数の増加はもちろんのこと、私たちの自分で考え行動する姿勢を身につけることや、地域のボランティア活動にも積極的に参加していきたいというねらいがあります。

そしてボランティア活動の意義や誘いだけでなく、船中八策を基にした城西龍馬ボランティア八策も作成したいと考えています。船中八策を基にした八策シリーズには他にも龍馬の交通安全八策や、龍馬の地震への八策などがあります。みなさんもぜひご覧になられてください。

城西龍馬新聞ボランティア号の作成と、龍馬ボランティア八策の作成、この2つに助成金を活用していきたいと考えています。城西中学校へのご協力、どうぞよろしくをお願いします。



<質疑応答>

勝田委員

その龍馬のボランティア八策の新聞は無料で配布するのか、それともどこかで売ったりするのかはどちらなのですか？

チーム龍馬

このボランティア号の配布は、このこどもファンドの助成金を利用して印刷して、龍馬の生まれたまち記念館や龍馬の生誕祭での配布をしていきます。

青木委員

他の地域でボランティアを行っているところに行くを書いてありますが、そこに行く方法は？

チーム龍馬

遠ければ車で誰かに送ってもらって行きますし、近ければ自転車で行きます。

森本委員

活動の目標で私たちが作成した新聞を配布して来ましたと書いていますが、今までの作成費はどうしてきたのですか？

チーム龍馬

今までは校内の配布を主にしていまして、校内の配布についての印刷代については学校側から捻出をしております。今回のボランティア号は特に校外への配布を目指しているのでこの助成金を活用させていただきます。

松岡委員

活動内容の時期として、夏休みにボランティア特集号は出される。くわえて9月に城西龍馬新聞の特集号でまたボランティア八策作成、龍馬生誕祭に特集号の配布と、なかなかスケジュール的に詰め込まれているなという印象を受けるんですが、変更するっていうことはありますか？時期が変わるといふか。

チーム龍馬

時期が変わることはあります。できたものから基本的に発行していくので、早くできれば早く他のことを作れますし、もし少し進行が遅れたら他のことも遅れることがあります。



## ★おおつ子

～地域へと 笑顔をつなげ おおつ子～

みんなあ、地域と繋がっちゃう実感ある？そう言われたらあんまりないねえ。ほんなら今年はそれを目標にしようや。

こんな話し合いから生まれたのが私たちおおつ子です。

この活動を通して地域と繋がりたい。そう考えて計画をしました。それがこちらです。

大きくはアルミ缶回収。清掃活動。炊き出し訓練の3つになります。

まず初めに、アルミ缶回収について説明します。現在、大津中学校では各家庭や地域のコンビニ、スーパーなどでアルミ缶を回収し、現金に変えて地域の施設に必要な物を贈る活動をしています。私たちは、この活動をさらに活発にしていこうと新しい取り組みを考えています。それは地域の施設にアルミ缶回収の協力をお願いし、アルミ缶回収BOXを設置するというものです。またこの活動を知ってもらうために地域のお祭りでアピールするつもりです。そうしてより多くのアルミ缶を回収し、前年度約15万円だった収益を20万円に増やし、もっと地域に貢献していきたいと思っています。

次に清掃活動です。大津地区をもっときれいにするにはどうすればよいかを考えました。私たちが掃除をすることはもちろんですが、私たちが掃除をしてもポイ捨てをする人を減らさないと意味がありません。そこでポイ捨て禁止を促す看板を設置し、少しでもきれいな大津にしていこうとこの計画を立てました。

もう1つの計画が炊き出し訓練です。いつか必ず高知県には南海大地震がやってきます。そのための私たち中学生は地域の防災リーダーとして活躍しなければならないと思っています。そこで地域の防災意識を高めながら地域の人との交流も深めたいと思い、炊き出し訓練をすることにしました。

このように、私たちは様々な活動を通して地域と繋がる力をつけたいと考えています。地域と学校がひとつとなるきっかけの場を築いていくことが私たちおおつ子の役目です。私たちのまち大津をより良くしたい、その思いを叶えるために今できることを私たちなりに取り組んでいこう、そう強く思っています。せーの、おおつ子をぜひ応援してください。

<質疑応答>

増田委員

アルミ缶回収BOXは現在大体何ヶ所くらいあるのですか？

おおつ子

今は大津中学校でしか回収していないので、それを今から地域に繋げていこうかなと思っています。

大原正裕委員

6月にキャラクターデザイン募集をされるということですが、これは地域に向けて募集されるのでしょうか？

おおつ子

キャラクターは大津中学校を地域のみなさんにもっと身近に感じてもらいたいということで作成するので、生徒全員に校内放送で呼びかけて募集したいと思っています。

田部委員

7月と9月にアルミ缶回収BOX設置とありますが、それは別々の場所に設置するのでしょうか？



おおつ子

7月に回収BOX設置したところ以外のところに依頼をして9月に設置したいと思っています。

青木委員

アルミ缶回収を大津全体で行うと書いていますが、大津に住んでいる人も協力するのですか？

おおつ子

はい、今は生徒の各家庭から持ってきているアルミ缶やお願いしているコンビニやスーパーしかアルミ缶回収を行っていないので、もう少し広げていこうということで地域の人に声をかけます。

勝田委員

アルミ缶回収BOXはいつ回収するんですか？

おおつ子

まだ日にちとかは決まっていますが、定期的に私たちが回収しに行こうかなとは思っています。

松岡委員

活動内容のひとつとして11月に施設訪問、くわえて贈呈品の決定とあるのですが、この贈呈品の目的って何でしょうか？



おおつ子

贈呈品はアルミ缶回収をして、そのアルミ缶を現金に変えてもらうので、その現金で地域に貢献できる車椅子、テントなどを贈呈していきたいと思っています。

青木委員

アルミ缶回収BOXは何年間もそこに置いてるのか、それとも来年にももしも助成になったらまた来年も新しく買ってそこに新しいものを置くかが気になります。

おおつ子

回収BOXは使えるならずっと使っていきたいと思っています。

増田委員

回収BOXは自分たちで作るのか買うのかどちらですか？

おおつ子

自分たちではたぶん作れないと思うので買うようになると思います。

## ★ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

### ～高知ーLA 四世 バスケットボール交流～

こんにちは。ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム代表の横浜中学校バスケットボール部です。本日はよろしくお願ひいたします。

ロサンゼルス日系四世とは、日本からロサンゼルスに移住し、その後国籍などを取得した日本人とその子孫で、その四世の方です。今年 7 月にその日系四世の中学生が高知に来ます。そしてバスケットボールを通じて交流を行います。その四世の中学生バスケットボールチームと交流するチームは、男子は西部中と青柳中。女子は横浜中と城北中のバスケットボール部です。

7 月 28 日木曜日は高知市総合体育館を会場に、9 時 30 分から横浜中対 LA 四世の女子チームの交流試合を行います。11 時からは西部中対 LA 四世の男子チームの交流試合を行います。午後は高知市役所への表敬訪問を行った後、高知城を見学します。

7 月 29 日金曜日と同じく 9 時から城北中対 LA 四世女子チームの交流試合を行います。11 時からは青柳中対 LA 四世男子チームの交流試合を行います。午後は、女子は土佐女子中高等学校で、男子は追手前高等学校でお茶や折り紙、剣道などの日本文化体験を行います。

7 月 30 日土曜日はホストファミリーと LA 四世の家族との交流日となっています。

7 月 31 日の日曜日はホストファミリーチームと LA 四世チームの交流試合と、小さい子供たち同士や大人同士の交流試合を計画しています。

私達がこのような交流をすることで、アメリカと高知の中学生が交流することになり、LA 四世の中学生は自分のルーツと出会うことになり、高知の中学生は国際的な視野を持つことができます。

また交流後に、今回の交流で体験したことを文章やプレゼン等にまとめ、それぞれの中学校で報告することにより、高知の中学生が国際交流を身近に感じられるようになります。

さらに、2017 年の夏には今回交流したホストファミリーチームを中心に高知チームを結成し、ロサンゼルスでの交流試合を計画します。また高知の中学生が国際交流をより身近に感じられるようになると思います。

活動の予算は体育館使用料に約 4 万円、記念品代が約 10 万円。これは交流試合のときに交換する記念品で、記念 T シャツや高知のお土産を考えています。また文化体験等、交流費用の約 3 万円、これは 2 日目の文化体験に必要なお茶代や折り紙、書道の用紙等を考えています。そして交流のまとめ報告用紙代の約 3 万円の活用を考えています。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチームをよろしくお願ひいたします。

#### <質疑応答>

##### 田部委員

6月にメールでの事前交流がありますが、語源が違うのでどうやって事前交流をするのですか？

##### ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

英語に直しながら交流します。

##### 大原正裕委員

2017 年の夏には今回交流したホストファミリーチームを中心にチームを結成してロサンゼルスで交流試合をするということですが、日本からロサンゼルスまでの移動費はどうされるのでしょうか？

##### ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

各自で自分の負担になります。

勝田委員

7月27日のウェルカムパーティーとは何のことですか？

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム  
ホストファミリーだけの歓迎会です。

青木委員

アメリカのバスケットボールチームを招く方法と交通費がちょっと気になるんです。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム  
それも自己負担となります。

増田委員

ロサンゼルスのバスケットチームを呼ぶということですが、そのバスケットチームが高知県に来るというのはロサンゼルスのバスケットボールチームの監督とかの許可、話し合ってるんですか？

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム  
はい。話し合ってます。

松岡委員

ロサンゼルスのバスケットチームさんを呼ぶことに関して、そのチームを選ばせていただくとか、招待に関して、たぶん生徒さん自身でやったってことはないと思うので、どこの団体とか大人の方が関わってるのかということをお教えいただきたいです。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

校長先生からお話がきて、バスケットボールでの交流なら私たちにできると思って、参加させてもらうことになりました。

青木委員

大人が中心の活動が多いですが、子供が中心になるようにするためにどう考えていますか？

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

バスケットボールの交流試合をすることによって交流することができると思います。



## ★一宮家おもてなし隊

～一宮家はひとつの大家族やき！！～

こんにちは、私たちは一宮家おもてなし隊です。「一宮家はひとつの大家族やき！！」をテーマに地域との繋がりを強め、力のある一宮家を目指しています。活動メンバーは一宮中学生徒会執行部をはじめ、コーラス部とこの活動に賛同してくれる一宮中の生徒たちです。よろしくお願いします。

昨年の活動を紹介します。高知旅広場での龍馬の大宴会や地域のお祭りなどに参加しました。そのほか小学生との交流や、地域のみなさんと一緒に地域清掃をしたり、たくさんの活動を行いました。

今年度も先日行われました生徒総会で紹介しました。これはそのときのパワーポイントのスライドです。またお手紙も配布して、募集を行っています。締め切りは来週金曜日となっていますが、何名か参加したいという声も聞いています。

今年度計画していることは、この通りです。防災については後でもう少し具体的にお話します。このほか、学校での道徳教育を地域の方に知っていただくために、道徳教育に関するカルタなども作ってみたいと思っています。すでに5月14日土曜日に学校のすぐ前にある特別養護老人ホーム絆の広場の環境整備ボランティア活動に参加し、清掃活動を行いました。今回はまだ全体への募集はしていなかったため、生徒会執行部とコーラス部のみなさんでの活動となりました。これからも絆の広場には様々な活動で訪問させていただこうと思っています。

先ほど言ったとおり、今年度は昨年度と同様の活動をしながら防災に関する活動も行っていきたいと思っています。具体的には地域の方と一緒に防災グッズ作りをしていきたいと思っています。また、簡易トイレ以外の物も作っていきたいと思っています。明日、高知大学の岡村眞教授が一宮中に講演に来てくださるそうなので、直接お話できる機会がありましたら何かアドバイスをいただきたいなと思っています。

おもてなし隊のメンバーです。これからまた参加してくれる人も増えると思います。昨年度からお揃いのこのTシャツを着て活動を行っています。

いつか起こるといわれている南海トラフ大地震。地域との関わりが強ければ一人でも多くの命が救われると思います。地域との関わりを昨年よりもっと深め、そして私たちも活動をしながら防災について学んでいき、中学生としてできることをしっかりとやっていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

### <質疑応答>

#### 田部委員

支出の方で、Tシャツ作成のところに40枚とあるのですが、今のメンバーが18人で40枚はちょっと多いんじゃないですか？

#### 一宮家おもてなし隊

まだ募集している途中なので、これから人数がもっともっと増えると思うので、それくらいの枚数にしています。

#### 勝田委員

協力団体が一宮中学校のコーラス部というのは何か訳があるんですか？

#### 一宮家おもてなし隊

高齢者施設訪問をするのですが、そのときにコーラス部の方も一緒に歌を歌って高齢者の方と交流をしながらということなんです。



## 大原弘靖委員

防災グッズを作るとありますが、今現在考えている物は何かあるんですか？

### 一宮家おもてなし隊

まず考えているのは簡易トイレなのですが、これから講演に来ていただいたり色々な人のお話を聞いて作る物も考えていきたいと思います。

### 松岡委員

活動のひとつとして講習会を行うということなのですが、それについて具体的なことがわかっていたら教えてください。



### 一宮家おもてなし隊

夏休み中に、熊本の大きい地震があったので、そこでボランティア活動をしていた方にお話を聞いて災害のときに役立つこととかを教えてください。

### 松岡委員

それにくわえて、場所というか、実施する場所とどんな方が来られるのか、講師の方じゃなくて聞く側として、一宮中の生徒さんが来られるのか、地域の人と一緒にするのか、地域の人だけなのかというのが知りたいです。

### 一宮家おもてなし隊

そのときはおもてなし隊のメンバーになります。

### 青木委員

チラシ・ポスター作成とあるんですが、どのようなときにチラシやポスターを使用するんですか？

### 一宮家おもてなし隊

防災グッズ作りやイベントなどを地域の方に知らせるときに使おうと思っています。あと校内にもおもてなし隊の活動を知らせるときに使いたいと思っています。



## 【 こども審査員による一次判断 】

こども審査員9名が「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」の3区分で一次判断を行いました。

こども審査員が審査の際に何を重要と考えるかの“審査ポイント”は、こども審査員に対して行う事前研修会の中で、こども審査員が全員で話し合い、決めた項目を使用しています。

### 【審査のポイント】

- ① 地域との協力
- ② こどもが中心となって行えるか
- ③ 活動の幅が広がるか
- ④ チームワーク



| 発表No. | 団体名                              | いいね!            | もう少し質問がある | もうちょっと! |
|-------|----------------------------------|-----------------|-----------|---------|
| 1     | 高知市立久重小学校6年生                     | ●●●●●●<br>●     | ●         | ●●      |
| 2     | 潮江中防災プロジェクトチーム                   | ●●●●●●<br>●●●●● |           |         |
| 3     | NankaiSurvivalProject (NSP)実行委員会 | ●●●●●●          | ●●        | ●●      |
| 4     | チーム龍馬                            | ●●●●●●<br>●     | ●●●●      |         |
| 5     | おおつっ子                            | ●●●●●●<br>●●●●  | ●         |         |
| 6     | ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム   | ●●●●●           | ●●●●      | ●●      |
| 7     | 一宮家おもてなし隊                        | ●●●●●●<br>●●    | ●●        |         |

## 【 審査員による公開審議 】

### 卯月委員長

プレゼンテーションと質疑応答お疲れ様です。これからは、大人審査員の意見を少し交えて審査員全員の議論及び応募された皆さんに対する質問をしていきたいと思えます。これまでは各グループ、プレゼンテーション3分、それから質疑応答5分という厳密に時間管理をしていましたが、これからは各グループの申請された活動内容によってあるグループにかなり時間、必要な時間を費やしたり、あるグループにすごく短かったりするという差が生じますが、それは当然活動の内容が違いますのでご了解いただきたいと思えます。

進め方ですが、休憩時間中に、こども審査員9人いますが、各申請内容にしたがって3つのカテゴリーに分けてシールを貼ってもらいました。これはあくまでも中間で、これからの質疑応答によっては変わるけど、今まで聞いた範囲で「いいね」、「もうちょっと」、現段階ではもう少しやりとりをしないと判断できないというその3つに分類してもらいました。各シールには審査員の名前が書いてありまして、これから進行するときに、主にもう少し質問したいという人、あるいは「もうちょっと」に入れた審査員とのやり取り、大人も交えてのやり取りをしながら発表順にやっていきたいと思えます。7団体ありますが、それを1時間くらいで終えて、最終判断ということになります。

大人審査員は1票も持っておりませんので、こども審査員9人が助成したい、今回は助成は難しい、どっちかを判断します。9人の審査員のうち5人以上、過半数が応援をしたいとなった場合にその団体にこどもファンドの助成金によって活動してもらおうということになります。

緊張していると思えますが、これからこども審査員の貼ったシールの表を公表したいと思えます。よろしくをお願いします。

### 『高知市立久重小学校6年生』

### 卯月委員長

現段階ですが、「いいね」が6人、「もうちょっと」が2人、「もう少し質問がある」人が1人です。それでは大原正裕委員、「もう少し質問がある」というのはどんな質問ですか？

### 大原正裕委員

国際クリスマス大会は、8月と11月に行われる国際交流会の経費引用で行われるっていうのはわかりましたが、8月と11月と同様な感じで行われるのかっていうのがちょっとわからなかったです。

### 卯月委員長

さっきも質問がありましたが、クリスマス会はお金の余裕があったらやりますという回答でしたが、もう少しそのクリスマス会を何で企画しようとしているのか、あるいはお金がなくなったらやらないのかとか、もうちょっと詳しく説明していただけませんか？

### 久重小学校

8月に1回やってそれでお金が余ったらやるという形になっていて、もうお金が無くなったら2回目3回目はやらない予定になっています。ALTの先生に材料とか買ってきてもらうのですが、そのときにお金は1万円を預けてそのとき余ったお金がもう1回できるようであればやるという形になっています。

### 卯月委員長

じゃあこれから相談をすると。みなさんとしては少しお金を余らせてもらってクリスマス会までやりたい、そういう理解でいいですか。

#### 卯月委員長

はい、じゃあこれに従って「もうちょっと」というのが勝田君。現段階での意見、コメントを言ってもらえますか？

#### 勝田委員

僕は審査ポイントの地域との協力と、チームワーク、そこがちょっと気になりました。

#### 卯月委員長

冒頭紹介のありました 4 つの基準の中で、地域との協力というポイントとチームワーク、チームワークって言うのはその申請したメンバーのチームワークが気になるってことでいいですか？その 2 点気になるっていう指摘ですが、地域との協力はどうでしょうか？その先生と子供たちだけで、それ以外の地域の住民の方々との関係ってないですか？今回は。

#### 久重小学校

地域の人たちと一緒に試食したりするので、そのときに僕たちが学校のリーダーとか地域のリーダーとして協力したりするので、地域の人たちとの関わりも深めたりすることができると思います。

#### 卯月委員長

わかりました。チームワークがどうですかって質問もありましたが、中のチームワークは大丈夫ですか？

#### 久重小学校

大丈夫です。

#### 卯月委員長

はい、ありがとうございます。じゃあ青木さん、ちょっと気になることがありますか？

#### 青木委員

地域との協力と活動の幅が広がるかどうかちょっとよくわからなくて、地域との協力は海外から移住してきた地域の人と一緒に協力しているようなことを言っていたからよくわからないんですけど、活動の幅が広がるかは一旦そういうことをしたら他に海外の人は移住するのであまり活動の幅が広がりそうにないので・・・

#### 卯月委員長

これも 4 つの基準の中に活動の幅が広がっていくか、今年だけではなく、たとえば来年とか将来のことを考えたときに、新たな活動に広がっていくかとか、あるいは新たな人たちが入ってくるような活動になっているかという質問ですが、想像するにさきほどの色々な国のお料理を作ってみず地域の人呼びしてまず知り合いになる。その次どんなことが考えられますかね？

#### 久重小学校

今後もう 1 回、同様のようなことを行って久重地区とその ALT の先生方に関わり合いを持ってもらえれば、もっと久重地区のイベント事にも積極的に参加してくれると思うので、そういうことです。

#### 卯月委員長

わかりました。ALT の先生というのは何人くらいお手伝いというか、今回協力していただけるんですか？

### 久重小学校

今回来てくれる ALT の先生は 5 カ国なので、5 人くらいです。

アメリカ、オーストラリア、イギリス、デンマーク、シンガポールの 5 カ国です。

### 卯月委員長

はい、ありがとうございます。

では一応こども審査委員のほうの意見とかコメント聞きましたが、大人審査員の方で補足とか、質問ではなくてこの地域の紹介など横田さんお願いします。

### 横田委員

みなさんは久重小学校のことをどれだけご存知でしょうか。久重小学校っていうのは久礼野、重倉というところにある小学校で、高知市内で唯一木造の二階建ての校舎で、教室と廊下を隔てないオープンスペースの学校です。今たぶん 50 人くらいで、こじんまりとした学校ですので、できたら小さな学校で特色を出しながら学校を続けていきたいという子供たちの思いの中からこうした特色のある取り組みをしようと考えてくれたんだと私は思っています。

そういう意味でいいますと、たまたま出会われたダグラスさんと、そうした出会いから子供たちがその外国語や外国人に興味や関心を持って取り組もうとしているところからいうと、我々とするありがたい取り組みが始まっているのではないかなと思って今日は話をお聞きしたところです。

### 卯月委員長

どうもありがとうございました。地域の状況の説明でした。あと大人審査員のほうで何か気になることとか何かありますか？はい、梶さん。

### 梶委員

活動の幅を広げたいというところのお話の中であつたと思いますが、継続した取り組みを続けていくためにはやはりそのときにもお金が必要になってくると思うんですけども、今回はこどもファンドへの申請で、その後どのようにお金を集めていきたいと思っているのかっていうのをちょっと聞かせていただきたいなと思います。お金に関しては基本的には大人の仕事っていう位置づけになっているので、今日大人サポーターの方いらっしゃってます？可能な範囲でお願いをいたします。

### 久重小学校大人サポーター

校長の上村でございます。色々応援ありがとうございます。今年こどもファンド初めて出させていただきました。6 年生全員でやってきました。ですので、来年も全校集会とかで 6 年生が発表しまして、5 年生も来年またやってみようと思気込みが見えますので、継続的に学校ぐるみで頑張っていきたいなっていうことを思っています。以上です。来年もこどもファンドのお金をまたもらいたいということです。

### 卯月委員長

参考に申しますと 3 回までって決まっております。3 年先のことも少しずつ考えていただけたらありがたいというのが梶さんのご意見ではないかなと思います。ありがとうございます。他に、よろしいですか？

### 吉門副委員長

久重小学校のみなさんが山の中の学校って自ら言っていることが素敵だと思います。そしてふれあいをするのに食べ物でやろうっていうこと自体がとってもいいことだと思います。食を通じたらきっと仲良くなりやすし、地域の方も応援してくれると思いますので頑張ってください。

## 『潮江中防災プロジェクトチーム』

### 卯月委員長

すごいですね。満票。せっかくなので「いいね」って9人。現段階ではみんな「いいね」って言ってくれていますが、「いいね」って入れた理由でもいいし、ちょっと気になるってことがこども審査員のほうから何か、「いいね」は入れたけど実はこういう点も気になるって何かありますか？ない？じゃあ大人審査員の方に聞いてみましょう。何か気になるとか、活動するときにこういうこともあるよね、あくまでもアドバイスで視点が何かあったらお伺いしたいと思いますが、ありますか？はい、尾崎さん。

### 尾崎委員

はい、審査員の尾崎です。防災避難所カルタというのをやられてるということで見させていただいてました。アスパルは東地区の避難場所というカルタが見えてたので、ああ分かるわと思いつつ見させていただいてたんですけど、そのカルタっていうのはどなたが発案されたんでしょうか？皆さん学生が発案をされて、地域、たとえばアスパルを自分たちで歩いて避難場所だっているチェックをされてカルタを作られたんでしょうか？ちょっと聞きたいなって思いました。

### 潮江中防災プロジェクトチーム

3年前の先輩が作ってくれた防災カルタです。

### 卯月委員長

どんなふうにしたか聞いてますか？文章とか絵とか書いてあるけど。先生でもいいですよ。



### 潮江中大人サポーター

実は3年前に言葉を募集して、あいうえお50音順、防災の避難所だけでなく避難所に入ったときのことも一緒に併せてできることはないだろうかということで作りました。絵は業者をお願いをして、高齢者と子供たち、小学校とも触れ合う、近くの保育園にも配らせていただいて一緒にカルタをしました。そのなかでやっぱりここに逃げたらいいねということを自然に学べるようにということで、やっていく中で最初はこういう小さいカルタでしたが、高齢者とやっていく中では何書いているかわからないという声があったので、現在のこういう大きなサイズにするなど、徐々に変化をさせながらやっているという状況です。

### 卯月委員長

ありがとうございます。いいですか？はい。保育園でちゃんを遊べるものですか？中学生と保育園の園児さんと一緒に。ちょっとどんな感じが教えてくださいませんか？

### 潮江中防災プロジェクトチーム

全てひらがなで書いているので保育園児にもわかりやすく遊びやすいカルタだと思います。

### 卯月委員長

ありがとうございます。他に、はい、神崎さん。

### 神崎委員

活動の内容の中に、アンケートを作って実施をして集計をして、10月から1月くらいにはアンケート結果集計したものを自主防災組織の方々と意見交換を行うというふうに書かれてますけれども、せっかく作ったアンケートの結果をまた次の活動に活かしてもらいたいと思いますけれども、何か考えていることがあったら教えてください。

### 潮江中防災プロジェクトチーム

約1300世帯のアンケートをとりますが、実際の状況を理解することで地域との関わり、特に高齢者との関わりを持つことを目的としています。



### 卯月委員長

1300って大変だよ。大丈夫ですか？やる気ありますか？

### 潮江中大人サポーター

フォローしましょうか？1人2家庭と中学生全員、小学校6年生、つまり合わせたら1300いくつくらいの世帯のアンケートが集まるということで、その目的は2つなんです。地域防災力の向上と、もう1つは近所の方とのコミュニケーションですね。災害起きたときに声かけられるか、そこをやっぱり身近に繋がっていこうという一つのツールとしてこのアンケートをやります。自主防災には潮江であれば何町と、当然地域別に書くようになってます。それがまた集計されてきますので、それを自主防の方たちと分析しながら、また繋げていきたいってことです。ポイントは2つですね。以上です。

### 卯月委員長

子供たちが配布したら回答するよねきっと。回収率は高くなるでしょう。期待しましょう。

## 『Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会』

### 卯月委員長

3つ目、NSP実行委員会。同じように質問があるところから聞いていきます。大原正裕委員。

### 大原正裕委員

活動の内容についてなんですが、8月に東日本大震災被災者の中学生の方と交流及び意見交換があるんですが、これ自体、交流される中学生の方々の承諾は得られているのでしょうか？

### NSP 実行委員会

はい。すでに得られています。

### 卯月委員長

何人くらいと交流、意見交換できそうなんですか？

### NSP 実行委員会

お互いに高知側も東北側も10人くらいで、主に聞こうと思っていることは、東日本大震災が起こったときに避難所生活で大変だったこととか、何か気をつけたらいいこととかを私たちは体験したことがないので体験したからこそ分かることを中学生目線で教えてもらおうと思っています。

#### 卯月委員長

いいですか？再質問してもいいよ。大丈夫？はい、ありがとうございます。じゃあ松岡さん。

#### 松岡委員

昨年度もやられてたと思うんですが、その上で気づいた課題や感じたことなどを教えていただきたいと思います。

#### NSP 実行委員会

昨年度は避難訓練とかもやっぱり校内から行ったりすることが多くて、あまり地域全体で取り組めていたかと言われたらそこまでじゃなかったの、今度は避難訓練の参加を一番にして地域全体で防災を広げて、自助・共助の共助を大切にしてもらいたいと思っています。

#### 卯月委員長

青木さんどうぞ。

#### 青木委員

10人に活動？地震経験した10人に聞かって言ってたんですけど、10人にできるのかっていう・・・

#### 松岡委員

卯月さん補足いいですか？活動のひとつで、東日本大震災の方とテレビ交流するっていう、その点で、NSP実行委員会さんが10人しかおられないので、10人だけで話を聞くということに不安を感じられているようです。

#### 卯月委員長

もう少し多い方がいいのではないかなというようにことですか？はいわかりました。10人というふうになっているようですが、10人で十分なんではなかろうかという不安があるということではいかがですか？

#### NSP 実行委員会

まずはサバイバルグループに入ってくれている10人と向こうの10人で話をし、その後他のお助け隊のメンバーとか先生方に協力していただいて話を広げていくことで、まず最初の聞き取りは10人で行いたいと思っています。

#### 卯月委員長

一回やってから広げていきたいという回答でした。いいですか？はい、ありがとうございます。では大人審査員の方で何か・・・はい、横田さん。

#### 横田委員

少し補足をさせていただきますと、先ほど久重小学校のところでも言い抜かりましたが、現在高知市内の小中学校ではインターネットを通じて遠隔地でやりとりができるようになっています。実は先だって小高坂小学校とオーストラリアでインターネットを通じて、以前ALTで高知へ来られていた先生がオーストラリアに帰られたので、その先生と英語で会話をするというか、意思疎通をはかるなど、色んなことをできるようになっています。ですから、遠隔地であっても大勢の方と同時に連絡を取り合うというか、話し合いをすることはできるという環境が今高知市内ではできていますので、そういうのを活用すれば、先ほどの久重小学校であったり、南海中学校など、そういうことが容易にできるようになっているということは知っておいていただけたらと思います。

## 『チーム龍馬』

### 卯月委員長

チーム龍馬について、大原弘靖君質問ありますか？

### 大原弘靖委員

活動の内容で、その後の活動について考えていることとかありますか？

### チーム龍馬

私たちは今 3 年生で次卒業なんですけど、もしできるなら次代チーム龍馬は引き続いて龍馬新聞を作っていくのでそこから先は次世代チーム龍馬が考えていくと思います。

### 大原弘靖委員

それと、やはり新聞だけでは意識の向上っていうのはちょっと低いと思うんですけど、もうちょっと活動を考えていくことはないですか？

### チーム龍馬

それは考えたことなかったです。

### 卯月委員長

新聞を作って配布すると結構効果があるっていう考えですよ。その新聞の記事が面白ければ絶対読んでくれるとか？

### チーム龍馬

そういうことです。でも今言ってくれたことを基にしてこれから他のことも考えていきたいと思います。

### 卯月委員長

多分余計なことかもしれないけど、新聞を配布するときにそこで色んな会話をして、どんなふうにその新聞を置いてくれるとか、これじゃ無理だよなど色々なご意見があると思うから、そこでのやりとりを少しやる中でまた次のステップへ活かしたらきっといいでしょうね。新聞っていうツールは悪い物ではないと思うけど、それを使ってどう人と人とがコミュニケーションできるかってことですね、きっと。

### 卯月委員長

それから、松岡さん。

### 松岡委員

新聞の一つのボランティア八策ってあったじゃないですか。あれの中身がいまいち分からなくて、ぜひお伺いしたいと思います。

### チーム龍馬

ボランティアとはというのを基にして、まだ内容は全然考えてないんですけど、ボランティア活動の意義とか、誘いとか、そこらへんをひねったりして考えていきたいと思ってます。

### 卯月委員長

さてもう一人、大原正裕君。

### 大原正裕委員

活動内容のところなんですけど、10月2日に地域との防災訓練の様子を特集号に載せるとあるんですけど、その防災訓練だったり他の参加されるイベントだったりには中学校の生徒さんが参加されるのか、生徒会さんが参加されるのか分からないので教えていただきたいです。

### チーム龍馬

去年は家庭科部が炊き出しをしていました。今年は地域で避難訓練をしていきたいと考えています。

### 卯月委員長

以上がもう少し質問があるということも審査員の質問でした。ちょっと大人の審査員の方からもお聞きしたいと思います。どなたかありますか？

僕から聞いてもいいですか？面白いと思ったんですが、二人だけで活動するのがすごく気になります。

### 卯月委員長

二人が意気投合してやろうって？

### チーム龍馬

いや、急に先生に声をかけられて、「チーム龍馬やらない？」って言われたので、「やります」って、決まりました。

### 卯月委員長

もうちょっとたくさん増やしたいと本人は思わない・・・？

### チーム龍馬

あまり増えたら意見が異なったりしてちょっとやりにくいので、考えていません。



### 卯月委員長

じゃあ最初のきっかけは先生からのお呼びかけってことですか？

### チーム龍馬

先生からもあったし、2代目のチーム龍馬からも「やってみない？」と言われて、話もしたりしました。

### 卯月委員長

分かりました。大人審査員いいですか？何か一つくらい聞いてください。応援でも結構です。

### 山川委員

そしたらチーム龍馬のメンバーが取材に行って、取材も二人でやって、記事も全部二人で最後まででき上がったんですか？

### チーム龍馬

そうです。二人で全部やります。（※実際は3人での活動として申請があり、公開審査会終了後に申請内容に沿って活動されることで確認をとっています。）

### 山川委員

じゃあボランティアに参加するのは他の中学生のみなさん？

### チーム龍馬

そうです。他の中学生の人も誘ってボランティア一緒にどうって言って、私らもちろん行くし、誘った人も来てくれたら来ます。

### 山川委員

じゃあ今年ボランティア号の新しい新聞ができあがります。それで今まで取り組んできたボランティアも紹介して、また新たなアプローチもしますって書いてあるんですけど、もしよかったらさっき言ったみたいに今まで取材してきたボランティアの代表を教えてください。

### チーム龍馬

高知龍馬マラソンへの前日の受付があるときにブースを設けてもらいまして、そこで物に書き込んでもらってというボランティアをしました。応援メッセージもやりました。

### 卯月委員長

いいですか？梶さんあれば・・・

### 梶委員

すみません。ちょっと難しい質問かもしれないですけど、今回ボランティアの活動の意義と紹介を行うということなんですけど、今の時点でボランティアの意義というのはどういうふうに思っているのか、もしお考えとかあれば聞かせてください。

### チーム龍馬

ボランティアというのは自分で自主的に行動するということなので、自分でやりたいなって思うボランティアを見つけて、それに積極的に参加をしていったら、自分がやりたいことをやっていることで達成感があるでしょうし、嫌々やらされるよりも自主的に行動するということの方が大事だと思っています。

### 梶委員

ぜひ深めていってください。

## 『おおつつ子』

### 卯月委員長

はい、じゃあおおつつ子いきましょう。一人、大原正裕君が少し質問があるということですのでよろしくお願いします。

### 大原正裕委員

またアルミ缶回収BOXのことなんですけど、設置する場所については目途が立っているんでしょうか？もし、決まったりしていればその具体的な場所を教えてくださいと嬉しいです。

### おおつつ子

すみません。まだ決まってないんですけど、目途は立ってます。老人ホームとか大津小学校とかふれあいセンターとか公園とかにBOXを置こうと思ってます。

### 大原正裕委員

それはその中の大体どういったところに置こうかなってというのはありますか？

卯月委員長

要は人通りがとても多いとか、通勤通学とか買い物途中とか、何か理由がその場所にありますがって質問だと思っただけ。

おおつっ子

地域の人がよく通る場所に主に設置をして、公園とかだったら出入りするような、絶対に通るようなところに設置して、目に見えるところに置きたいと思っています。

卯月委員長

いいですか？他の委員はみんな「いいね」なんだけど、「いいね」を入れながらも、ちょっとまた何か思いついた質問とかあったら。田部君どうぞ。

田部委員

さっきのアルミ缶の回収 BOX なんですけど、それは校区内なんですか？

おおつっ子

校区内です。

卯月委員長

次いいですか？他に無いですか？じゃあ大人の方から何か指摘、こうやったらもっといいよってことでも結構ですがありますか？はい、神崎さん。

神崎委員

一つ質問ですけれども、活動内容の中の 2 つ目に炊き出し訓練をするということで、「おおつまつり」のときに炊き出し訓練を考えられているようなんですけれども、このおおつっ子の皆さんが炊き出し訓練に参加をして、こんなことをやってみたいということが皆さん方で考えられてることがあればちょっと教えてくれますか？

卯月委員長

はい、おおつっ子ならではの炊き出し、何か個性がありますかね？特徴がありますかね？

おおつっ子

助成金がおりました場合は、その助成金で T シャツを作るので、それを着て豚汁などを作る予定です。

神崎委員

炊き出し訓練はあっちこっちで、防災訓練なんかでもやると思いますけど、せっかく皆さん方がこうやろうというふうに考えられているから何かこう、卯月先生も言ったように皆さん方らしいアイデアというかそういうのを出して頑張ってもらいたいと思います。

卯月委員長

じゃあ、やるときはぜひ考えてください。さて、他にありますか？よろしいですか？はい、じゃあ尾崎さん。

尾崎委員

炊き出し訓練のところなんですけど、「おおつまつり」っていうのはどこが主催している祭りなんですか？中学校が開催しているイベントになるんでしょうか？

おおつ子

地域の人たちの「おおつまつり実行委員会」というがあるので、そのお祭りを中学校でやっています。

尾崎委員

地域の方が開催されているお祭りの中に出店させてもらうような形で？

おおつ子

はいそうです。

## 『ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム』

卯月委員長

それでは「ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム」ということで、まず少し質問があるということで、森本さん。

森本委員

日本文化体験のことで質問があるんですけど、それは子供たちが日系四世の方に教えるのか、大人の人が日系四世の人たちに教えるのかを知りたいです。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

中高生が協力して教えます。

卯月委員長

たとえば、何？文化ってとても幅広いけど。どんなことを予定していますか？

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

折り紙と剣道とお茶です。

卯月委員長

では、松岡さん。

松岡委員

自由記入のほうになるんですが、高知県自体がアメリカロサンゼルスバスケットボール協会との交流を行っており、過去4回の交流って書かれているんですが、過去4回あった上でわざわざこどもファンドに申請、助成依頼をしてくるということでは何か、大きな理由というものがあるのかなと思ひまして気になっています。

卯月委員長

これまでの4回と、今回申請している内容に何か違いがあるんでしょうか？今まではちょっと助成金なしでやってきたんでしょうから、今回この助成金を使って何か今までと違う交流ですかね、そういったことは予定されているのでしょうかという質問だと思います。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

過去4回のときにはまだこどもファンドはありませんでした。

卯月委員長

過去4回って毎年じゃないんだ。今まで4回やった内容と今回の活動の内容はほぼ同じですか？

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

同じです。

松岡委員

前回とかで賄っていたものが、なぜ今回できないんだってというのがどうしても。

大人サポーター

費用のことですので私の方から。

とても苦労しておりました。子供達より全部自己負担でした。だけど、今回このファンドがあるから国際交流のために活動しようということで応募をさせていただきました。子供達に紹介すると、こうやってやってみようということで今日ここに来てます。

卯月委員長

子供が負担してた部分を軽減するということでこのファンドに応募してきたという、そういう理解ですか？  
はい、分かりました。

卯月委員長

さて、じゃあ「もうちょっと」に入れてくれた勝田君。

勝田委員

最初に聞いた質問と少し似てるんですが、7月27日水曜日のウェルカムパーティーは、そのパーティーの費用は自分たちでやるのか、それともこどもファンドの費用でやるのかどちらですか？

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

それは自己負担です。

卯月委員長

いいですか。わかりました？青木さん。

青木委員

あまり地域との協力が無いと思うし、やっぱりバスケットボールの交流は子供が中心となってやっているけど、色々なことを話したりするのは子供とかではできないかもしれないので、子供が中心となって行っているかがあんまり、他のチームよりは・・・

卯月委員長

えっと、また繰り返しになりますけど、先週子供たちが作った審査の基準が4つありました。そのうちの1つが地域との協力というのがあって、その視点に立ったときにこの活動はどうなんだろうという質問でありました。いかがでしょうか。まあ、地域の捉え方だと思うんで。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

地域はないけど、高知県の中高生が協力してくれます。

#### 卯月委員長

高知県の中・高校生っておっしゃった？まあ横浜中だけじゃなくてっていう意味ですね。他高知市内の中学生いくつか学校が出てるでしょ。そこは交流しますよっていう意味で地域と広く捉えてるってことですか。はい、ありがとうございます。もう一つ質問したい？

#### 青木委員

子供が中心となって・・・

#### 卯月委員長

えっと、その基準のもう1つに子供が中心に行く活動なのか、さっきの松岡さんの指摘もそうだと思うけど、きちんとした団体が上にあってずっとやっているの、子供が中心として行っている活動なのかどうかっていうことについて、疑問がちょっと生じてるんじゃないかと思うんですが、そんなことないよって何かあったら言ってほしいんですが、どうですか？

#### ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

文化やバスケットボールなどホームステイのときに、その外国人の方と英語を使って工夫して交流できたりするので、子供が中心となっています。

#### 卯月委員長

ホームステイということを通じて、なるべく個人個人のレベルになるかもしれないけど交流を図りたいということですかね。はい。ありがとう。じゃあ勝田君、もう一回。

#### 勝田委員

2017年夏に高知チームを結成し、ロサンゼルスで再交流というのは、また高知チームを結成してロサンゼルスでバスケットボールでやるのか、それとも他の目的でやるのかどっちですか？

#### ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム

バスケットボールを通じて交流します。

#### 卯月委員長

はい、ありがとうございます。では一応子供の方の質問、意見はここで終わりにして、大人の方から何か指摘ありますか？一人くらい何か・・・。横田さん。

#### 横田委員

高知市には例えば中国の蕪湖市とか、アメリカでいうとフレズノ市とか、姉妹都市とか友好都市があるわけですね。インドネシアですとスラバヤ市にあるわけですけども。そういうところの小中学生の交流については一定、市のほうで予算を確保してなんらかの交流ができているわけですけども、これは必ずしも国と国、あるいは市と市の交流ではありませんので、実は市のほうから予算というのはありません。それを子供たちが相当自己負担をしながら活動をしてきています。やはり、その人と人の繋がりというのはとても大事ですので、その活動を子供たちは考えてくれている。ただ、ご指摘のようにどうも組織立ってというか、前提に大きな組織があるということですけども、今までこんなに交流し合えて記念品の交換もしてなかったんじゃないかと思います。活動は一緒だけれども、今回はそういう記念品の交換とかをこの助成金を使ってしたいと、そのことによってアメリカで子供たちが高知のことをよく知る、あるいはその引き続き交流していくきっかけにするために、この助成金を使って記念品とかっていうことに充てたいというのが本当じゃないかと思いますけれども、そこの辺がちょっとはっきり分かりませんが、そうであればそれなりの意味があるのかなというふうに思います。



卯月委員長

今の横田さんのご説明で、その通りと理解してよろしいですか？大人のサポーターの方にお伺いします。

大人サポーター

はい、その通りです。

卯月委員長

はいわかりました。ありがとうございました。他にありますか？ご質問は。

尾崎委員

すいません。ちょっと厳しい質問になるかもしれませんが、仮に今回助成が受けられなかった場合って  
いうのは、これまで同様、自己負担で開催するという気持ちでしょうか？

大人サポーター

はい、仕方ないことです。

## 『一宮家おもてなし隊』

卯月委員長

それでは最後のチーム、「一宮家おもてなし隊」にいきたいと思います。大原正裕君、質問お願いします。

大原正裕委員

活動の内容のところなんですけど、その小学校でのあいさつ運動っていう活動があって、活動自体の頻度と  
その行う時間帯っていうのを教えていただきたいです。

一宮家おもてなし隊

一宮中校区には4つの小学校があるんですけど、月に1回、順番にその学校を周っていて、時間帯は学校  
からの距離とかがあるので、朝早くて7時50分から8時5分までで、遅いところは7時55分から8  
時10分までしています。

卯月委員長

はい、それでは次、松岡さん。

松岡委員

昨年度は清掃やらあいさつ活動がメインで、今年は防災の方が入ってきてて、なかなか密な内容だと思  
うんですが、そんな中で高齢者施設の訪問というのが5~6回活動内容としてありまして、具体的にこうい  
うことをしたいという内容が決まっていたら、ちょっと教えていただきたいと思います。

一宮家おもてなし隊

コーラス部の方とおもてなし隊のメンバーみんなで行って、歌を披露したり、時には一緒に歌ってもらった  
り、あと、ちょっと話したりとかそういう交流もしていきます。

卯月委員長

5回、4回か、書いてありますが、もうすでにその施設とはご連絡はしていますか？

一宮家おもてなし隊

はい、しています。

松岡委員

具体的に高齢者の方と一緒に何かするっていうことはないんでしょうか？何て言ったらいいんでしょうか、一方的な感じがするんですね。歌を歌います。ちょっとお話をさせてもらいます。交流というよりは、何て言ったらいいんですかね・・・

卯月委員長

もう少しこう何というか、深い関わりっていうか、歌を歌ってちょっとやって帰っちゃうっていうのではなく、もう少し高齢者と一緒に交流とかありますか？

一宮家大人サポーター

すみません。学校の前にある施設が特別養護老人ホームということで、あまり会話ができるとかいう方が少ないというのがあって、歌を届けるということで活動をしています。

卯月委員長

他の4つも全部そうなんですか？

一宮家大人サポーター

あとはお掃除をさせていただいたり、ちょっと会話ができそうな方とはお話をしたりという形です。

卯月委員長

確かに色々な施設がありますからね。

はい、それでは「いいね」に入れた審査員でも何か少し気になることがありますか？無いですか？

では大人審査員の方から何か指摘、補足等がありますか？気になることがあるなら言ってください。

山川委員

すでに高齢者との交流というのをやっていたらいいんですけども、この施設以外の地域の高齢者との交流というのは考えていらっしゃるんでしょうか？

一宮家おもてなし隊

夏にはお祭りのお手伝いをさせていただいたりするので、そこで交流をしたりすることもできます。

山川委員

そうですね、ぜひそういうことをしていただいて、そこで聞いた意見を地域で今度やる防災活動とか、そういうことに繋げてもらえるといいなと思います。

卯月委員長

はい、ありがとうございました。

それでは一応、この一次判断後の意見交換はこのくらいにしたいと思います。

## 【 審査結果発表 】

### 【審査結果】

| 助成団体                                | 助成金額      |
|-------------------------------------|-----------|
| 高知市立久重小学校6年生                        | 200,000 円 |
| 潮江中防災プロジェクトチーム                      | 154,400 円 |
| Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会 | 200,000 円 |
| チーム龍馬                               | 200,000 円 |
| おおつっ子                               | 200,000 円 |
| ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム      | 200,000 円 |
| 一宮家おもてなし隊                           | 181,500 円 |

### 吉門文恵副委員長

おめでとうございます。よかったです。ちょっとひやひやしたこともありましたが、全部合格、本当におめでとうございます。

今回、私は初めて審査に加わらせてもらいました。各グループのみなさん、3分って短い時間でよくまとめられていたと思います。あと質問もいっぱいありましたけれども、3分って短いのですからね。頑張ったと思います。ちょっと不安かなと思うこともありますが、各グループのみなさんは来年の3月19日の活動発表会までには、それぞれのテーマを通じて色々な経験をすると思います。きっと良い経験もすることでしょう。その大きく成長した皆さんのキラキラした姿をまた見せていただける来年も楽しみにしておりますので、どうぞ皆さん頑張ってください。おめでとうございます。



## ☆感想発表



### 大原弘靖委員

今回は3回目の審査員で、質問を何回かしたときにみんなで協力して考え、それでしっかりと答えているっていうのはやっぱり団結力が見られたし、毎年新しい内容が増えてきているのでやっぱりいいと思いました。活動報告のときでも見るのが楽しみです。ありがとうございました。



### 増田光祥委員

初めて審査員をやったんだけど、みんな頑張っていたのすごかったです。



勝田佑委員

今日初めてやらせていただいたんですけど、みなさんの頑張りが出ていたのでよかったと思います。



青木晴楓委員

3年目で最後の審査員なんですけど、素晴らしい高知の役に立つチームばかりだったので頑張りたいです。



松岡陽委員

今回は初めましての団体さんが多くて、また中身も私たちが初めて聞くようなものが多くて、非常に興味深かったです。今回テレビを通しての交流や講習会を行うなど、またそれをテレビで撮ったりとかすることによって、今年だけじゃなくて、また来年次の生徒さんや団体さんにも回して学習が深まっていくのではないかと考えています。お疲れさまでした。



田部祥一朗委員

今年は今後が期待できるグループばかりで、結果発表が楽しみです。期待してます、頑張ってください。ありがとうございました。



大原正裕委員

僕自身は3年目の審査員なんですけど、やはり、毎年斬新なアイデアをみなさん出してくれていたの、その斬新な考え、発想自体をとってもいいと思いました。また僕自身も今後の学校生活だったり、そういうこの他の企画があったりしたら、その際にみなさんの持っているような発想を僕自身も見習って、今後に役立てていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。



森本向日葵委員

今回は防災に関する話題がすごく多くて、自分も勉強になったし、何よりも高知でこんな活動が多くあったので、自分もこの審査員をやってよかったと思いました。今年3年目で最後だけど、すごく良い経験をさせてもらったし、3月を期待しています。ありがとうございました。



松下藍花委員

今回は色々楽しい申請内容が多くて、楽しませて見させてもらいました。これから頑張ってください。

#### 【こども審査員サポーター 佃典高さん】

こども審査員サポーターさせていただきました佃と申します。まず今日の発表された児童生徒のみなさんの本当に地域を一生懸命考えてるという姿がとっても素敵だなということを実際に率直に感じました。ぜひ皆さん、今日は今計画している内容とか助成を受けてこんなふうになりたいと思っている夢とかを叶えていただけたらと思っています。審査員サポーターだったので審査員のことちょっと触れます。今日のこども審査員のみんなとは先週も一緒に事前研修会ということでお会いしてたんですけども、この9人の審査員の子たちで1時間かけて、審査項目4つを決めて、その4つ決めるのも皆で意見を出し合って、今日審査にあたっています。本当に一人一人が意見を持ってこうやって審査にあたっている、そして一人一人が意見を持ってこうして皆さんがここに集まって高知の地域のことを考えてくれているということが審査員を見ても参加者の皆さんを見てもとっても嬉しいなということを感じた先週と今日でした。本当に良い機会を与えていただきましてありがとうございました。どうぞ皆さん頑張ってください。ありがとうございました。



#### 【こどもファンドアドバイザー 畠中洋行さん】

皆さんお疲れ様でした。このおじさんはいったいあそこで座って何をしてるんだろうと思われてる方もいらっしゃると思います。こどもファンドアドバイザーっていうのは、とにかく皆さん方がこの申請書を出すまで、あるいはこの公開審査会に出てくるまでにこんなことしてみたいけど、どうしたらいいんやろなっていう時に、アドバイスに入って一緒に考え方の整理をするっていうお手伝いをするのがまず1つ目の仕事です。今年5年目ですけども、今まで4年間は申請を出していただいた団体さんの約半数の団体さんからアドバイスをお願いされました。でも今年は1団体も無かったので、ある意味ちょっと別の意味でドキドキしながら今日話を聞いてましたけど、内容的には皆さんすごいなって、練ってきてるなっていうふうに思いました。

このアドバイザーのシステムっていうのが、皆さん方からアドバイスに入ってくださいっていう要請があって、初めてみなさんのところにお伺いする仕組みです。こちらから気になっているのでアドバイスに入らせてください、というシステムにはなってないので、皆さん方からぜひアドバイスをと言われたら行きます。今回の助成が決定して以降、本当は大事な部分がたくさんあります。今日もいっぱい発表を聞いていて、あるいは質疑を聞いていて、あ、こういうふうにするつもりでいることにちょっと工夫を加えたらもっと活動の幅が広がるそうだなというポイントが、たくさん僕の中にはありました。でも、それをこっちから勝手に入って行けないので、できれば地域コミュニティ推進課さんを通して、こんなこともあるけどどうでしょう、って一回お伺いを立てます。それで一回アドバイス聞いてみようかなって思う方がいらっしゃいましたら声をかけてください。

とにかく私たちは、こうやってこのこどもファンドで多くの方が自分たちの思いを実現したいということをサポートしていかうという立場で、審査員さんもそうです。みんなそういう気持ちでやっていますので、ぜひこれから、今日助成が決定して活動を続けていただけて、なおかつ今やろうとしていることにもっともっとプラスができることがあればプラスをしていって、幅を広げてみんなが楽しく、そしてそれを地域の人たちもそのことを喜んで、こんなことしてくれているこの子供たちがいるんだということを感じてもらえるようなファンドの内容になっていくと良いなと思います。どうも今日はご苦労様ありがとうございました。





まず、7つの申請してくださった団体、助成金決定おめでとうございます。みんなホッとしてああ良かったな、今日1日苦しいこともあったけど、これから1年間楽しくやろうっていうふうに思ってくれると幸いです。今年の傾向とちょっとこれからのこと、立場上お話をさせていただきます。

今年は7つの申請ということで、これまでの4年間に比べるとちょっと少なめだったと思います。ただ、質は当然ながら2年目あるいは3年目というグループもあるので、だんだん発展・展開しているなと思いました。7つの団体のうち、小学校が1つ、残りの6つは全て中学校という形での申請でした。これまでも中学校は比較的多かったですが、もちろん小学校もあり、高校もあり、それから小・中・高という分け方ではなく、地域の中に住んでいる小学生・中学生・高校生含めて地域で出してくださるところもありました。こういった企画をお手伝いしている立場から言うと、もう少し地域から出てくるという物もあってほし

いなというふうに思います。ただ学校が熱心にやってくくださることも我々は当然ながら応援したいと思っています。

テーマで申しますと、7つの団体のうち、6つの団体は全て防災や減災という内容が含まれていました。防災をメインにやるところはそのうち半分くらいかもしれないけど、地域に入っていく以上、やっぱり高知の地域特性があります。防災のことを考えるということによって子供たちと地域の住民の方々との交流を深めたり、あるいは将来のことを考えようというのは当然のことだと思います。高知以外でもこういう助成金のお手伝いを少ししていますが、ここまで防災のことをきちっと毎年子供たちを含めて考えているところはそう多くないので、いつか来てしまうかもしれない震災のために普段の努力をしていることが多分良い結果になるだろうと期待しています。防災以外のことと言えば、もちろん地域には色んな活動がありますが、ボランティアの話やアルミ缶回収、清掃、僕の印象からいうと今年初めてかなと思うのが国際交流です。バスケットボールのロサンゼルスとの交流は当然ですが、もう1つ久重小学校の外国から来られている先生方との交流というのも初めてのことで、横田委員の指摘にもあったように、地域特性を相当活かしている、あるいは学校とか教育委員会とか市の予算でなかなか支援できないところを地域の子供たち、あるいは学校ぐるみで防災とはまた違う立場から申請をしてきてくれたということは大変嬉しかったです。

もう1つ今年申し上げたいと思ったのは、先ほどご紹介もありましたが、こども審査員のことを少し最後にお話したいと思います。「こうちこどもファンド」のように、子供たちが地域社会のことを考えて、自分たちもこういう活動をしたいといって応募をしてきて、それに助成金をつける制度というのは日本では多くはありませんがいくつかあります。たとえば県にしても国にしても学校に助成金を出してやってくださいという形で、書類審査だけのところもあります。ただ、この「こうちこどもファンド」で特徴的なことは、審査するのが大人ではなくて子供たちだということです。ここにいる9人の子供たちが審査する。我々は大人審査員と一応名前はついてますが、持ち票は1票もありません。あくまでも子供たちが判断するときに必要なアドバイスをしたり、これはちょっと誤解してるなというときにお手伝いをしようという立場で我々はいるわけです。そういう意味で日本広しといえども子供の活動を子供が自ら審査するっていうのはこのファンド、「こうちこどもファンド」以外無いわけです。その先駆性が極めて豊かであるし、今日この同じ会場で子供たちの質問あるいは子供たちの質問に対する回答、やりとりは、ほとんど大人が関係ないところで子供たち同士で将来の高知のまちづくりのことを考える意見交換が行われた。非常に緊張な時間もあったけど、あれがこの「こうちこどもファンド」のもっとも重要な時間だったというふうに今思います。今回3年目を迎える審査員が7人いますが、1年目、初めて緊張しながらお兄さんお姉さんの様子を見ながら体験しています。2年目、3年目、ものすごくこのこども審査員は成長するんです。一週間前に4つの審査基準を作るということも、毎年同じなのだから、基準なんか作る必要ないと思ったこともありましたが、それは大間

違いでありまして、審査員も変わりますので、前年の経験を活かして今年はここを重視しようという形で自主的に作っていることも評価できます。また、その一週間前のことを活かして申請書をくまなく読んできて、さっき誰かの見ましたら質問したいところに付箋が入っていて、そこに全部メモ書きがしてあります。そこまでども審査員は責任を持って自分の意見をみなさんにぶつけるところで、僕ら全く結果に関与しないわけだけど、そういったことで実は3年目を迎えたときに本当に素晴らしい質問や、相手に対する敬意というか配慮もしながら、でも厳しいことはやっぱり聞かなきゃいけないってということで質問してたと僕は思います。こういう形で子供同士、子供が活動することだけど、同じ子供と一緒に応援する、あるときは厳しいことも言うかもしれないけどそれは子供たちにとっても役に立つことだと、最終的には高知に役に立つことだということを進めていることをぜひみなさんご理解していただきたいし、感じていただけたらと思います。もう1度繰り返しますが、こういった申請及び審査というのは公開でやらないところの方が多いです。僕らは落とすことを全く目的としてないです。当たり前ですが、申請を出してくれた、自分たちの地域のことを考えてこうしたいという子供たち、あるいは学校ぐるみの活動を応援したいけどもちょっと方向がこのファンドの主旨にあってない、あるいはもう少し修正してくれるとぜひ応援したいしたいというその辺のボーダーのものははっきり言ってあります。だけど、せっかく応募してくれたからには高知のまちを良くしたい、高知に住んでいる人たちの交流を深めたい、子供たちが一度大阪とか東京に出て行っても最後は高知に戻ってきて高知で暮らしたい、そういう人を増やしたいというのがこの主旨にあります。その主旨をきちっと考えると、いくつかの地域から解決するということを出してきてもやっぱりその子供が独自にその地域その地域のオリジナルな提案とか、その地域ならではの子供が発想してそれを大人がサポートするという部分を、きちっと評価をしたいし、それが無いところは質疑応答で少し色んなやりとりがあったということを感じていただければと思います。ほとんど満票に近い形ですが、いくつかのグループは2票入ってなかったり、1票入ってなかったりします。それは細かく内容を申し上げますが、子供たちとの質疑応答の中で色々指摘された内容がやはり最終的な判断になっていることは事実でありますので、今後活動する中でぜひその部分を配慮していただきながら活動する、高知の子供たちをみんなで大人が支えていくという、応援していくということでもありますので、子供たちの発想、子供たちの豊かな活動、育てていきたいというふうに最後に思った次第です。少し長くなりました。どうもありがとうございました。

# 資料編

★高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

★平成 28 年度公開審査会アンケート結果

- 一般来場者
- 応募団体向け（対象：子ども）
- 応募団体向け（対象：大人サポーター）

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱を次のように定める。

平成24年4月1日

高知市長 岡 崎 誠 也

#### 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

##### (趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

##### (助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

##### (助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

##### (助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

##### (助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

##### (助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

##### (助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適当と認めたときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適当でないときとは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体（以下「助成事業者」という。）は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものとみなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書（様式第3号）により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認（否認）通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

(実績報告)

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書（様式第4号）に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

(助成金額の確定)

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めたときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書（様式第5号）により助成事業者に通知するものとする。

(助成金の交付請求及び交付)

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書（様式第6号）により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めたときは、助成金を交付するものとする。

(助成金の概算払)

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書（様式第7号）により、市長に請求しなければならない。

(助成金の交付決定の取消し)

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不相当と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

る。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者に通知するものとする。

(助成金の返還)

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

(調査等)

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

(整備保管)

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

(その他)

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

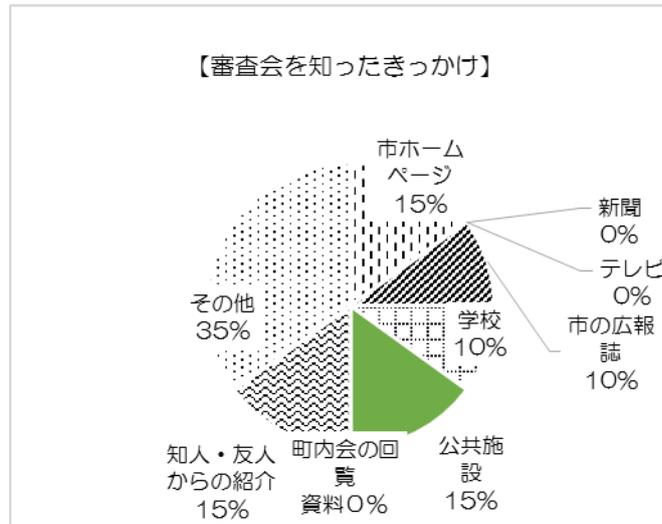
この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

# 平成28年度公開審査会 【一般来場者アンケート】

回答数 20人

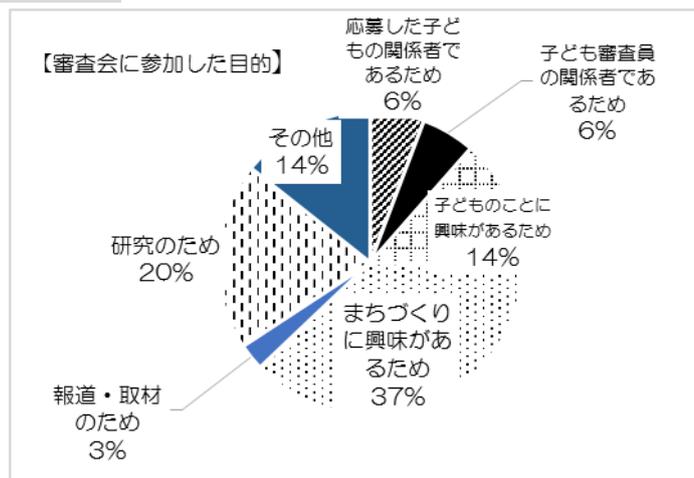
## 問1 公開審査会について何で（どこで）知りましたか。

- 1 市ホームページ 3
- 2 新聞 0
- 3 テレビ 0
- 4 市の広報誌 2
- 5 学校 2
- 6 公共施設 3
- 7 町内会の回覧資料 0
- 8 知人・友人からの紹介 3
- 9 その他 7



## 問2 公開審査会に来た目的は何ですか。（複数回答可）

- 1 応募した子どもの関係者であるため 2
- 2 子ども審査員の関係者であるため 2
- 3 子どものことに興味があるため 5
- 4 まちづくりに興味があるため 13
- 5 報道・取材のため 1
- 6 研究のため 7
- 7 その他 5



## 問3 公開審査会についてどのような印象を持ちましたか。

- ・みんな真剣！打ち合わせの時から子供がこども扱いされていない。それがよいなと思った。
- ・子どもの鋭い質問に大人がウン・ウン・とうなっている様子が印象的でした。この審査会の一つの目的であろう、こどもが大人を動かすということが、しっかり働いているなと感じました。
- ・小学生の審査員の質問に対して、中学生はしっかり説明を果たしていた。年代が違う人にも、わかりやすく解答する。これは簡単なことに見えて難しいことで、行政もあまりできないことだ。素晴らしい。
- ・質疑に対して真剣に答えている様子が伝わってきた。
- ・大変レベルが高いものだった。こども審査員の質問も興味深い。
- ・子ども達が真剣に高知の自分の関わり深い地域のことを考えている姿に胸をうたれました。
- ・改めて良い機会だと思いました。進行やレイアウトも良く考えられているなと感じました。
- ・プレゼンテーションがよく出来ていて、こどもたちの発表も素晴らしかった。こどもたちがもっと考えて作ったほうが良いかな？とも思いました。大人が考えた内容が多かった様に思いました。

- ・各団体のプレゼンテーションのレベルが高いが、大人が作って子供が発表している印象がする。
- ・こども審査員の目が鋭く驚きました。
- ・こども審査員からの鋭い質問に驚きました。又、プレゼンテーションの能力の高さもすばらしいです。
- ・子ども達がまちづくりを行う一員として活動を考えている姿に感激しました。
- ・初めて参加した。こどもたちの審査の基準を考えるから、それぞれの団体の発表についての検討がすばらしかった。
- ・こどもたちの緊張感がいいですね。
- ・妙に”子供向け”の仕立てでなく、とても好ましいと思います。
- ・それぞれの活動がとてもよかったです。自分の活動に自信を持って、活動できていることも良かったです。自分の言葉で受け答えができていました。
- ・こどもの視点というのが改めてすばらしいと思った。自由かつ率直。
- ・一次判断結果を受けての質問や、それに対する回答が興味深かったです。充分時間配分もよかったです。

#### 問4 審査会や「こどもファンド」制度について何か改善したほうがいいと思うことはありましたか。

- ・子どもの審査での厳しさには限界があると思うので、落とすのを目的にしないにしても、問題があるところはしっかりと子どもに認識させる事が必要だと思います。
- ・各団体のサポートにおいて、プレゼンテーションの方法などもアドバイスをしたほうがいいかも。せっかく楽しそうな活動でも、プレゼンの方法・スライドの文字量・声の大きさ・早さ・構成などが原因で一番大事な活動の楽しさ、おもしろさ、意義が伝わりきっていない団体がいくつかあり、大変もったいないと思います。
- ・地域からの提案がもっとあると良いと思いましたが、学校が盛り上がり地域からは出しにくいかとも思いました。
- ・審査会や発表会にもっと聴きにきて下さる方が増える様に宣伝の仕方を変えたら？と思いました。
- ・子どもの目線での活動を目指して欲しい。
- ・とても素晴らしい企画なのでもっと広報すべきと思います。
- ・参加団体を増やすことですね。
- ・市の政策上の位置づけやねらい等を明確にして、広く市民にその存在と意義を知らせる取り組みが必要ではないかと思います。
- ・(大人向け)高知市まちづくりファンドとの連携、接点づくりが必要です。
- ・こどもの発言を大切にしたいアイデアが少ないように思えました。

#### 問5 子どもがまちづくりを行なうことをどう思いますか。

- ・こどもが動くから大人も動く。まち全体を動かすには必須だと思う！
- ・こどもの頃からまちづくりに参画することで、大人になっても継続して参画していくことができると思うので大切なことだと思います。
- ・高齢化の現代で、子どもの声って届きにくくなっていると思います。将来を担う子どもの視点でまちづくりをするのは、その地域に愛着をもたせるため大切です。
- ・大変素晴らしい。子供が「行動、計画、実現」を主体的に行っている点において、今回でも少なくない取り組みだと思う。他の自治体の取り組みや研究にもおおいに影響しているのだと思う。
- ・子供もまちに関わる大事な存在だと思います。彼らの声を活かしてこそそのまちづくりだと感じました。
- ・こどもが動くことで地域が動くことになると感じ、非常に良い取り組みだと思います。

- ・素晴らしいことだと思います。色々な子ども達ももっともっと子ども達がまちづくりに関心をもって、子ども達の未来が明るくなってほしいです。
- ・次世代のリーダー育成のためにとても良いことだと思います。
- ・これからの高知を担う、貴重な人材なので素晴らしいことだと思います。
- ・次世代を担う子ども達に、こどもの目線でのまちづくりを考えてもらうことも素晴らしいと思います。
- ・将来のまちづくりを担う一人として子供がまちづくりを考えることは大切だと思います。
- ・今のこどもたちの考えや思い、意見が今後のまちづくりに役立っていくと思う。
- ・いいことですね。様々な取り組み（防災、地域活動）に主役として活躍できると思います。
- ・とても良いこと、必要なことだと思います。自分達の身近な地域、社会を自分達の手でより良くしていけるという実感を子どもたちから感じることは重要です。
- ・普段は大人の考えのまちづくりばかりなので、とてもいいことだと思う。
- ・子どもを通して大人が加わることができる。地域の巻き込みに期待します。
- ・今後”地方創成”をめざす中、最重要な取り組みだと思います。
- ・このことを通じて地域コミュニティの活性化に繋がればいいと思います。

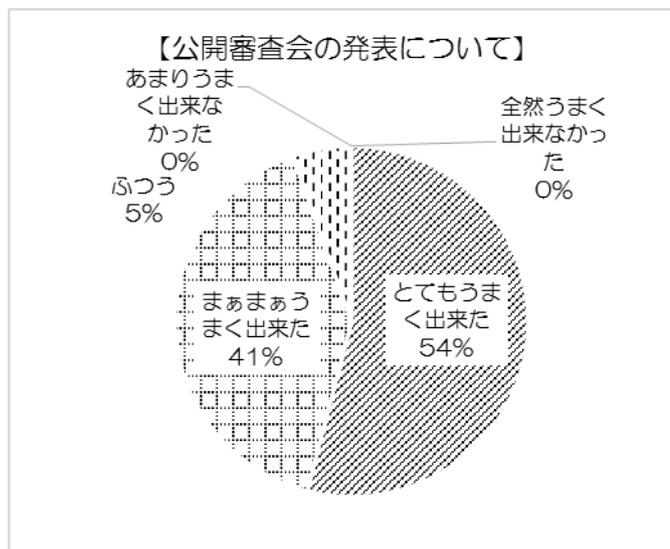
#### 問6 子どもが審査に加わることをどう思いますか。

- ・大人ならしない質問、もっていない視点があってよいです！考えさせられました。
- ・敬語もしっかりしていたし、子どもにやらせることは不安もあると思いますが、やらせてみることで思わぬ能力を発揮することもあるので、大切だと思います。小学生の質問に中学生が真剣に答えているのが面白く、重要なことだと感じました。(年齢関係なく子どもだけで成立している点)
- ・とても良い経験になると思います。
- ・「まちづくり」という多様性を考慮しなければならない仕事である。様々な視点から審査することは、各プロジェクトの完成度を高めていく上でも大切！
- ・こどもが審査を行い、サポートをする事は素晴らしい。それぞれの取り組みを客観的に判断し、有効性を見極めることにつながる。
- ・質問のきりこみ方が斬新で面白い。場を和やかにする力もある。
- ・審査する側・発表する側、どちらにも良い刺激があってすごく良いことだと思います。
- ・同世代の活動を目の当たりにすることによって、各こども審査員の視野が広がると思う。
- ・大人にはない目線での審査ができて良いと思います。
- ・他ではない取り組みで素晴らしいと思います。
- ・こどもの視点がしっかり反映されており良いと思う。
- ・審査員にわかりやすく、短い時間でプレゼンすることが勉強になります。
- ・とてもよいと思います。
- ・自分達大人が考えつかないことを質問するので大変良いことだと思う。時々はっとするような質問もあり、びっくりすることもあります。
- ・とても良いと思います。こども審査員も成長していると思います。
- ・審査される子、する子、どちらも大人にサポートされ、ゆるい責任をもつことで彼らの成長が加速するためとてもいい手法です。

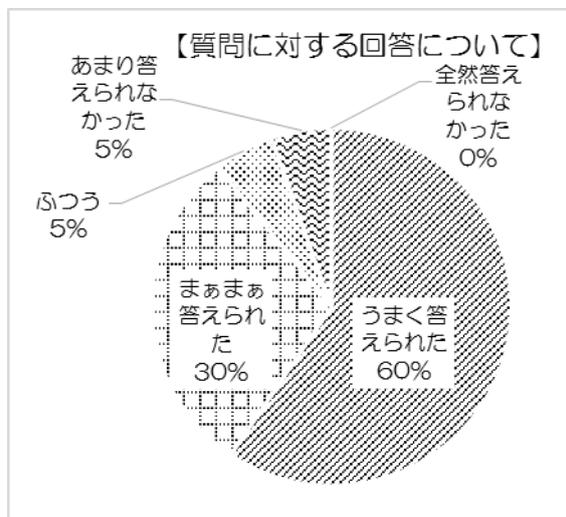
# 平成28年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：子ども）】

回答数 37人

## 問1 発表はうまくできましたか。



## 問2 審査員の質問にきちんと答えられましたか

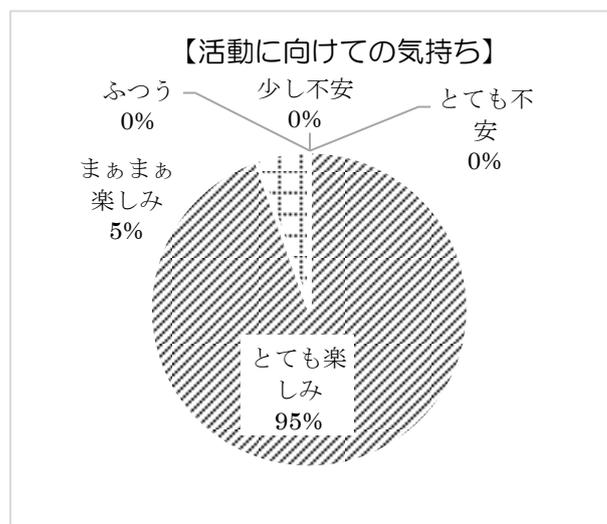
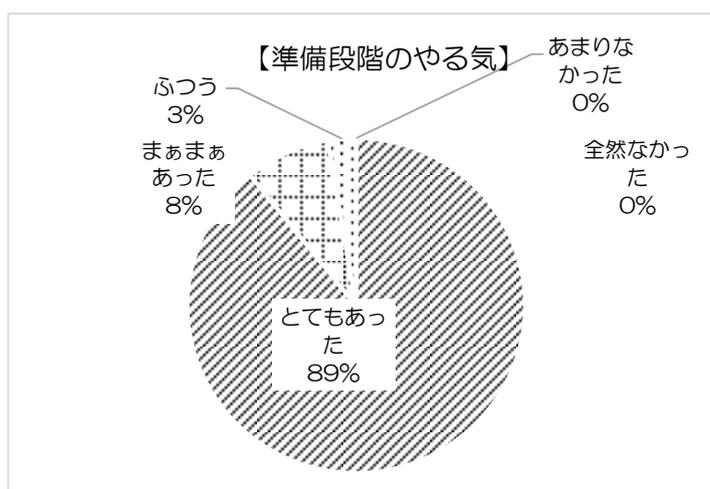


## 問3 他のグループの発表、質疑応答を聞いてどう思いましたか。

- ・素晴らしい発表だったし、きちんと質問に答えていてすごいと思いました。
- ・みんなすごく早く答えていた。
- ・発表するのを覚えていたりしてすごかったです。
- ・発表を聞くと、ハキハキしていてポーズなどもしていたし、歌もつけていたのですごかったです。
- ・発表がすごかったし、声も大きくて自信を持っていたから「すごいな」と思いました。
- ・どのグループも発表の仕方を工夫して、質疑応答もしっかりできていた。とても良かった。
- ・防災についての意識が高いなと思った。小さい子ども審査員の方が、鋭い質問をしていて少し驚いた。
- ・質問の答えに合った臨機応変な受け答えができていたと思います。又、スライドでは足りない部分を口で明確に言って説明していたので良いなと感じました。
- ・皆スラスラ答えられてとてもすごいと思います。
- ・「一宮家おもてなし隊」は発表中にコーラス部が歌を歌っていたので、工夫されているなと思いました。
- ・質疑応答がしっかり答えていたので具体的に決めていたんだなと思いました。
- ・目標がしっかりしていてよかったです。実際に作ったものを見せているところがあり、分かりやすくよかったです。
- ・聞かれたことにすぐ答えられているグループがあったのでそこを見習わないといけないなと思いました。
- ・自分達とはまたちがう伝え方があり、印象づけられる発表が多かったです。質問なども自分達の言葉で分かりやすく答えられていたのでよかったですと思いました。
- ・自分達含め聞き取れない所が少しあった。
- ・自分達とは違う考えだったりがあったりして、とても参考になりました。子ども審査員の質問はとても詳しく深めてくれていたので良かったです。
- ・他のグループは自分達より人数が多いとこばかりだったので、気持ちでは負けたくないと思いました。小道具を使っていたグループもあり、見ていて楽しかったです。小学生からもズバツときた質疑応答があったのでびっくりしました。

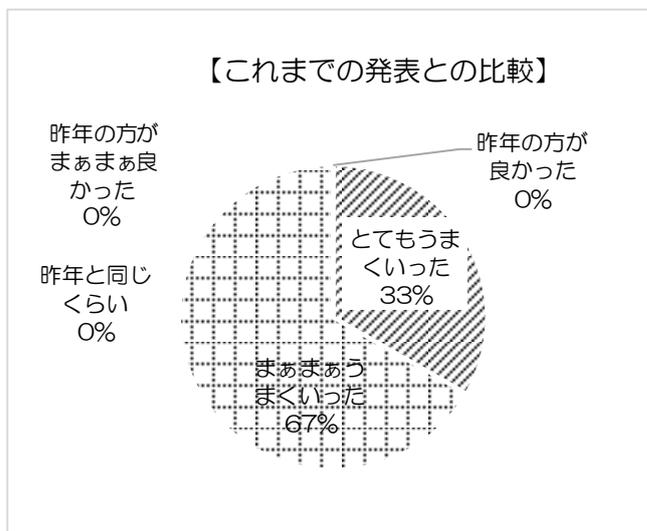
- 多方面への活動があったり、国際的な内容も含めたグループがあってとてもスケールの大きいものでした。質疑応答については審査員一人一人がとても意義のある質問をしてくれたと思う。
- 聞き取りやすくわかりやすかった
- ほとんどのグループが地域との関わり(防災についてやポイ捨てなど)があり、高知に役立つようなことで良いと思った。
- 地域のためにいろいろな活動を行っていることがわかった。
- 不明な点が気になった。
- それぞれのグループが個性を出していてよかったと思います。
- すぐに答えることができているすごい!と思いました。また詳しく答えているところもあり、私も相手に伝わる答え方をしないと参考になりました。
- 具体的に内容を考えられていてよかった。
- チームで声をそろえたりしてすごく迫力があるなと思いました。
- 質問に対する答え方や、パワーポイントなどを上手く活用できていると思いました。
- ほかのグループは元気があって聞きやすかった。質疑応答も丁寧に応答し、分かりやすかった。

**問4 「審査会発表に向けて準備をしているときのやる気」、「プレゼンテーション後、活動に向けての気持ち」として当てはまるものはどれですか。**

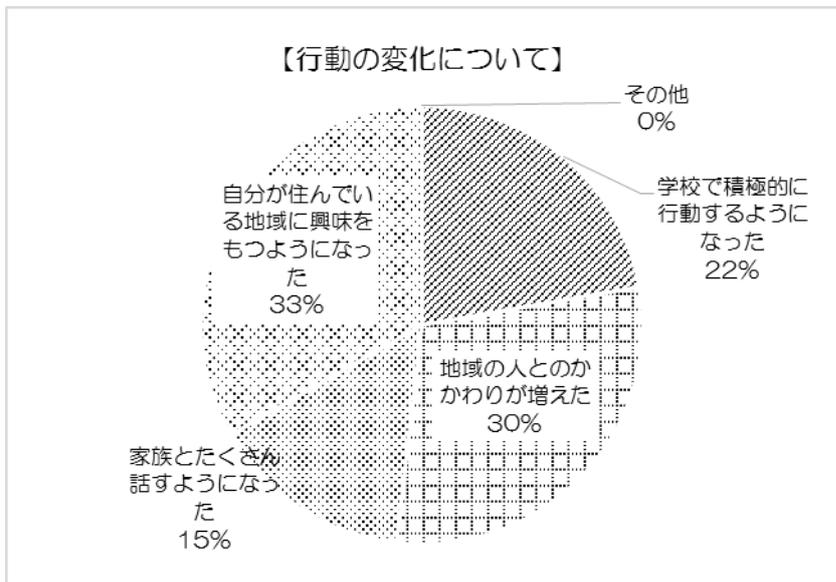


**問5 2度目、3度目応募の人に対する質問**

(1) 昨年と比べて、発表や質疑への応答はうまく出来ましたか。



(2) 昨年と比べて、どんな変化を感じましたか。(複数回答可)



問6 審査会や「こどもファンド」制度について、もっとこうして欲しいという点は。

- ・ 質疑応答の時に審査員の質問で、声が小さく少し聞き取りにくく、応答のときに少し困りました。
- ・ プレゼンの時間を長くして、もっと話を聞きたいと思った。
- ・ 審査員の質問がきつすぎる。もうちょっと簡潔に言ってほしいです。
- ・ 審査員の募集をもっと広げて欲しい。募集の存在を知らなかった。
- ・ どんな質問が過去にあったのか教えて欲しい。
- ・ 審査員さんは、どうして「いいね」や「ちょっと・・・」の所にシールをはったのか理由を考えておいてほしいです。

**問1 審査会の進め方はどうでしたか。**

とてもよかった 100%

- ・各チームとも練習がいきとどいており、スムーズに進めることができました。
- ・しっかりしたこども審査員とそれをフォローする大人審査員がうまく機能していました。大人が陰できちんとフォローすることが大切だと思うのでとても良かったです
- ・リハーサルも数回させていただいたので、どのグループもスムーズにできていたので良かった。
- ・こども審査員がとてもしっかりしていて、質問もきちんと出てスムーズに進んでいたと思います。
- ・どの子どもそれぞれの立場でのがんばりが見える進め方だと思うから。こども審査員の質問は鋭かった。

**問2 これから子どもたちが進める活動について、今どのように思いますか。**

とても期待する 100%

- ・子ども達の意見は高知の未来であると考えます。自分たちが考えた企画が実現し、その活動が未来を変えていく楽しさ、充実感を知ることは、高知を変えると同時にその子どもも変えていくと思う。
- ・子ども達が交流する機会にもなったので、刺激をうけて更に意欲的で独創的な活動になることを期待します。
- ・質疑応答のやりとりを聞いていても、それぞれのやる気が伝わったので、どんどんがんばってもらいたい。
- ・子ども達がいざというときや、今後大人になって今回のような体験から、自分で考える力や行動力を手に入れ、社会に貢献してくれるようになると思うからです。
- ・大人がバックアップしているにしても、子ども達の活動意欲やアイデアが素晴らしいと感じた。

**問3 子どもがまちづくりに関わることで、ご自分の行動や意識にどのような変化があると思いますか。**

- ・地域の中心であるという実感がもてることで、自己肯定感や自己有用感が高まると考えている。
- ・子供が元気になると大人が元気になる。大人が元気になるとまちが元気になる。それを実感しています。
- ・地域に目を向けることで、地域の一員である自覚も生まれるし、地域の方々皆さんで見守ってもらえることで、心が安定する生徒もでてくると思う。
- ・他人事、親がやること、と思わず自分のこととして考えていけるようになると思います。
- ・チャンスがあればこどもたちに色々な体験や交流をしてもらいたいと思います。そのため大人ができるコーディネート役になりたいと思います。
- ・自分の学校や住んでいる地域に愛着を持ち、自慢に思い、広がっていくことを望むようになると思う。

**問4 審査会や「こどもファンド」制度について、もっとこうして欲しいという点は。**

- ・こどもたちが生き生きと活動していてとても良いと思います。これからも子ども達が活躍できる場所が増えることを願っています。
- ・もっとこの活動が広がり、地域と子どもがどんどん繋がっていくことを願っています。
- ・初めて参加をさせていただきましたが、子ども達が真剣に考えたり、プレゼンをすることでとても成長できる会になっていると思います。
- ・初めて参加したけれど、発表者の堂々とした態度や、質問者など未来は暗くないなと少し安心した。是非子ども達のアイデアに助成してあげてほしい。

# 【こうちこどもファンドへの寄附者の皆さま】

(平成28年8月末日現在)

## 《企業・団体》※50音順

- 有限会社大石電機
- 株式会社片岡電気工事
- 和建设株式会社
- 株式会社岸之上工務店
- 一般財団法人高銀地域経済振興財団
- 株式会社公職研
- 高知黒潮ライオンズクラブ
- 同上
- 高知県青年読売会
- 高知市職員労働組合
- 高知市まちづくり未来塾
- 高知市旅館ホテル協同組合
- 高知スタンダード石油株式会社
- 株式会社高知タマモ
- 高知南ライオンズクラブ
- 高知民謡クラブ
- 国際ロータリー第2670地区
- 三愛石油カスタマーサービス株式会社
- 同上
- 三共工業有限会社
- 株式会社四国清掃工業
- 株式会社四国相互手形センター
- 株式会社四国ポンプセンター
- 医療法人仁栄会 島津病院
- 株式会社シンテック
- 株式会社セイミツ
- 株式会社双電社
- 東京テクニカサービス株式会社ドコモショップ愛宕店
- 西村商工株式会社
- パシフィックソフトウェア開発株式会社
- 福留開発株式会社
- 株式会社豊栄電気工事
- 株式会社松井ビル
- 丸仁商事株式会社
- よこせと・まちづくり市民会議
- 読売センター高知長浜
- 依光内科クリニック
- ほか1企業、1団体

- |         |     |     |   |
|---------|-----|-----|---|
| 代表取締役   | 大石  | 典明  | 様 |
| 代表取締役   | 片岡  | 雅夫  | 様 |
| 代表取締役   | 中澤  | 陽一  | 様 |
| 代表取締役社長 | 岸之上 | 憲一  | 様 |
| 理事長     | 森下  | 勝彦  | 様 |
| 代表取締役   | 大田  | 昭一  | 様 |
| 会長      | 清水  | 源太郎 | 様 |
| 会長      | 依光  | 聖一  | 様 |
| 会長      | 尾崎  | 知宏  | 様 |
| 執行委員長   | 明坂  | 浩   | 様 |
| 代表      | 岡田  | 法生  | 様 |
| 理事長     | 宮村  | 耕資  | 様 |
| 代表取締役   | 手嶋  | 邦彦  | 様 |
| 代表取締役   | 濱田  | 泰巨  | 様 |
| 会長      | 竹内  | 靖   | 様 |
| 代表      | 豊永  | 止子  | 様 |
| ガバナー    | 関   | 裕司  | 様 |
| 代表取締役   | 池田  | 宜弘  | 様 |
| 代表取締役   | 八田  | 聡子  | 様 |
| 代表取締役   | 飯間  | 俊一郎 | 様 |
| 代表取締役   | 森国  | 勇   | 様 |
| 代表取締役社長 | 矢野  | 利平  | 様 |
| 代表取締役   | 西村  | 倫彦  | 様 |
| 理事長     | 島津  | 栄一  | 様 |
| 代表取締役   | 田所  | 伸雄  | 様 |
| 代表取締役   | 小林  | 正典  | 様 |
| 代表取締役   | 堅田  | 英信  | 様 |
| 代表取締役   | 高橋  | 吉久  | 様 |
| 代表取締役   | 西村  | 倫彦  | 様 |
| 代表取締役   | 中谷  | 正彦  | 様 |
| 代表取締役   | 大場  | 智公  | 様 |
| 代表取締役   | 吉村  | 保利  | 様 |
| 代表取締役   | 松井  | 誠一  | 様 |
| 代表取締役社長 | 下元  | 康弘  | 様 |
| 代表      | 江口  | 富博  | 様 |
| 代表      | 中村  | 治   | 様 |
| 院長      | 依光  | 聖一  | 様 |

## 《個人》

- 梶原 太一 様 (高知市在住)
- 田所 伸雄 様 (高知市在住)
- 久川 憲四郎 様 (横浜市在住)
- 山本 吾一 様 (高知市在住)

●そのほか6名の皆さま

**【発行】**

**高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課**

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL/088-823-9080

FAX/088-824-9794

<平成28年10月発行>